



討議資料

## 平成27年9月議会 一般質問

8/25～10/6 平成27年第3回定例会が開催されました。当選して5カ月、近藤にとっては2回目の議会！近藤は、教育、女性のキャリア支援、街づくりの評価指標に関する質問・提案を行いました。

### ①「学ぶ子に答える、流山市。」の教育行政について

#### 小1プロブレムの対策状況について質問しました

**Q** 流山市では私立の幼稚園・保育園が多く、多様な教育プログラムが展開されています。文字や数字を教えない園もあれば、小学校2～3年生レベルの本がすらすら読めたり、九九まで教えてしまう園もあり、小学校一年生では、教育レベルが大きく違う子ども達と一緒に介す状況になります。「勉強が難しくつまらない」「簡単すぎてつまらない」ということが原因で落ち着いて授業に取り組めないということはないか、現状と対策を教えてください。

**A** 流山市幼児教育支援センターにおいて、小学校・保育園・幼稚園の先生方が一同に介し、幼児期に大切にすべき教育についての研修会を行い共通認識を図ると共に、互いに悩みを共有したり、意見交換を行うことで成果も出てきた。引き続きこの取り組みを継続し、小1プロブレムの防止に努めていきたい。

今後も注視

#### 世界一多忙な先生に子どもと向き合う時間をつくるため、校務支援システム積極導入を！

**Q** 経済協力開発機構（OECD）の報告では、日本の先生の業務は多岐（親の相談・多様な要求／子どもの心の成長／勉強（授業と授業準備）／部活／出席管理・通信簿管理など）にわたっており、世界一多忙。子どもとの時間を第一にしてほしいので、業務効率化に定評がある「校務支援システム」の積極導入を検討しては？

**A** 教師の業務は多忙を極めている。平成28年度、導入検討を開始します。

前進

### ? 「校務支援システムって何？」

#### 定型業務効率化



手書きによる事務だと、同じ情報を何度も記入したりと膨大な手間やミスが発生しがちでしたが、出席簿、名簿管理などの単純業務については、システムを利用して一括入力・管理。業務時間が減り生徒の時間を増やすことができます。

#### 1人1人の子どもの育ちをサポートしやすい体制に



生徒に評判の良かった優れた教材、教師の知恵を一括管理し、流山市全校で共有。より面白い授業が行われたり、教材がより分かり易くなったり、生徒の情報を確認しながら、以前の担任やベテランの先生のアドバイスをもらうなど組織的な対応が可能になります！

### ②「母になるなら、流山市。」の戦略について

今後も注視

市は共働き世帯の誘致を行ってきましたが、実際は専業主婦（夫）世帯が約6割。この方々は元々能力が高い。子育て中でも、自分らしく生きられるよう託児付の学びの機会や中長期を見据えたキャリア支援がもっと必要と訴えました。市は「個々の施策が実を結んできている。今後はさらに効果的なものとするため、市民団体とも連携し施策充実を検討する」とのこと。今後の動向をしっかりとチェックしてまいります。

### ③「母になるなら、流山市。」の行政評価について

一歩前進

市は街づくりの評価について、街づくりアンケートを行っていますが、回答者は在住20年以上の方が圧倒的に多い！居住歴が浅い市民からの回答も評価としては重要なので、偏りの評価や補正や別途アンケートの実施が必要と訴えました。市は今後は世代ごとの分析を加えたり、計画策定の節目で是正していく、また統計に関して職員研修を充実するなどの回答を頂きました。今後の動向もしっかりとチェックしてまいります。



## その他、活動報告

### 良質な街づくりのための活動

#### 7/9 議会終了後もすぐ勉強！三鷹市への街づくり1日びっちり研修・視察へ

人口減少に悩む自治体も多い中、流山市は幸いにも3、40代の働き世代が急増中。嬉しい悲鳴である一方、開発中の土地も多く残っています。国全体が人口減の中、人口獲得競争が一層激しくなることを考えれば、**中長期的に価値が落ちない街づくりを行う必要があります**。私は、若い方々に選ばれ続ける良質で美しい住環境整備に貢献したいと考えていますが、街づくりには多くの知識・知恵が必要。そこで、6月議会終了直後、所属会派で街づくり勉強会ツアーを企画。午前は都市計画の講義、午後は三鷹市の街づくり事例の説明を受け、夜は現地見学と「びっちり」勉強してきました。三鷹市は、最適人口を17万5千人と明言、高さ制限や特別用途地域などの都市計画制限を行い、街のビジョンに即した街づくりを誘導できるよう工夫しています。まさに市民参画が活発という歴史に下支えされた街づくりの先進自治体で、ヒントも沢山いただきました。私が所属する会派には様々な地域に根差す議員がいらっしゃるため、勉強会では各地域の課題を持ち寄り、活発な意見交換ができました。今後も積極的に勉強し、市に提案してまいります。

#### 5月からおおたかの森駅一等地のパチンコ店出店問題に取り組んできました

5月12日におおたかの森駅前にパチンコ店出店予告の看板が建てたから、多くの住民から相談を頂いたこともあり6月の一般質問で取り上げました。市は、目指してきた姿と乖離を認め、(出店自体を取り消すことは出来ないが)**景観・安全面など、周辺環境への配慮について事業者に最大限の指導を行う、また今後、第2・第3の風俗店ができないよう出店規制を行う、**という回答をいただきました。その後は住民からも数々の要望書・陳情が上がり、市はその民意を受け、おおたかの森駅前商業地域の新たな風俗店出店については、規制を行うための法整備を最速で進めております(4月導入予定)。現在、パチンコ店出店事業者との交渉が大詰め。建設前交渉は重要ですから、私もしっかりとチェックして参ります。皆様も関心を持ってください！詳細は、私のHP「おおたかの森パチンコ出店問題」シリーズをご覧ください。

想定外の開発を繰り返したくない！  
街づくりはコミットしていきたいので  
しっかり勉強してまいります！

### 若者と政治をつなぐ活動

#### 8月、9月 大学生が議員インターンシップに来ています

女性・子育て政策に関心の高い学生3人(東洋大学3年生、筑波大学1年生、共栄大学1年生)が近藤の元に議員インターンシップ(議員と行動を共にする事により、政治と社会のつながりを知る体験プログラム)に来ています。みなさん公務員、学校の先生等を目指されている将来がとても有望な学生です。近藤としては、若い方々に少しでも政治に関心を持ってもらえることを願い、協力しております。



#### 高校生が政策提言にチャレンジするプロジェクト「Infograteens ～統計で人の心を動かさせ日本を変える～」に協力しています

(株)新閃力の尾崎えり子さんと共に、高校生が地域経済分析システム(RESAS)を使って、政策提言を行うプロジェクトに協力しています。



### 近藤みほ インフォメーション

#### お気軽にお問い合わせください

議員は市民と行政のパイプ役。ワンストップ窓口係です。近藤の得意分野は、**子育て・教育・女性・オープンガバメント(全域)、街づくり(おおたかの森周辺、その他エリアは会派の他議員と連携します)**。\*6月～9月、教育/職業/防犯/街づくり関係の相談を頂きました。

#### 2-3人からの集まりに出張します

近藤が学んだ事、提案したこと、私の考えをお伝えします。近藤にざっくばらんに何でも聞いてみたい会を開催しています。特に**ママ・パパ(全域)、シニア(おおたかの森周辺)**の方大歓迎です。\*

#### Mama's 選挙ラボがマニフェスト大賞 優秀賞を受賞しました！

『ママが政治に関心を持つための10のこと』とまとめたラボの活動が、<ネット戦略・コミュニケーション戦略>で優秀賞を受賞しました！

#### 活動報告を発信しています

<http://mihokondoh.net/>  
f miho.kondoh @lovehona

